

## 第2回 危機管理士勉強会 開催レポート

昨年度から開始致しました危機管理士勉強会の第2回が2016年8月4日に開催されました。この勉強会は危機管理士1級取得者を対象に、ご自身の研究内容の発表や、他の資格者との情報共有を行って頂くために開催しております。今回は、東京都稲城市の高橋勝浩市長と、1級取得者の2名の方にお越し頂きました。参加者の中には先日の熊本地震で支援にあたられた方も多く、当日は活発な意見交換の様子が見られました。

### 東京都稲城市 高橋勝浩市長

稲城市の高橋市長より、「稲城市における消防行政のあり方について」と「対行政暴力における危機管理対応について」の2つのテーマでご講義頂きました。危機管理対応についてのテーマでは、実際に平成27年11月に稲城市で発生した「稲城市市庁舎放火事件」（庁舎1階に刃物を持った男が侵入、放火を行った）をもとに、当日の避難誘導の様子や、事件後の業務復旧作業、安全対策の見直しに関するお話を伺いました。市民及び職員等への重大な被害は無かった一方で、庁舎の焼損・水損による一時的な業務停止は市民生活に影響を与えました。



### 三重県いなべ市危機管理課 大月浩靖氏

熊本地震発災後、益城町の災害対策本部の支援に入られた際の体験をお話頂きました。現地の災害対策本部で起きた様々な「想定外」のエピソードをもとに、県外から支援のために集まった人や物資を平常時とは大きく異なる状況下で効果的に配置・分配することの難しさを発表して頂きました。



### 長野県飯田市危機管理室 後藤武志氏

益城町に支援に向かうまでの道のりと、現地入りしてからの様子を時系列でお話頂きました。現地では特命の「被害認定調査・罹災証明チーム」として、電気・水道等のインフラが寸断された公民館を拠点に活動されました。その経験を基に、紙媒体の罹災証明書不要の社会システムの構築や調査票の様式の統一など、過酷な状況下でも行政が円滑に業務を行うための整備の必要性を強調されました。

